7202-090600201

TEAC

取扱説明書

CR-H238i

CDレシーバー

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

目　次

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(裏表紙に記載)にご連絡ください。

電源コード×1
リモコン(RC-1226)×1
リモコン用乾電池(単4)×2
AMループアンテナ×1
FMアンテナ×1
iPodドック(DS-20)×1
取扱説明書(本書)×1
保証書×1

使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因になります。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機を十分にテレビから離してお使いください。
- 本機がスタンバイ状態のときは、待機電力が消費されます。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

 警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

 電源プラグをコンセントから抜け	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは。** **機器の内部に異物や水などが入ったときは。** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない。** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**この機器のキャビネットは絶対に外さない。** キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない。 火災・感電の原因となります。
 強制	**この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。** **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。** 機器のまわりにすきまがないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

安全にお使いいただくために（続き）

注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

強制	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。** **また、接続は指定のコードを使用する。** それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。
	電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	この機器の付属の電源コードセットを他の機器に使用しない。 故障、火災、感電の原因となります。
	電源コードを熱器具に近付けない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

注意 乾電池に関する注意

禁止

乾電池は絶対に充電しない。

破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

注意 電池に関する注意

強制

電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。

間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

長時間使用しないときは電池を取り出しておく。

液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

禁止

指定以外の電池は使用しない。

新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。

破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

分解禁止

金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。

ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。

分解しない。

電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

5年に1度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。

費用についてはお問い合わせください。

コンパクトディスクについて

本機では、以下のディスクが再生できます。
- 「Compact Disc Digital Audio」ロゴマークのあるCD(12cm/8cm)

- 正しい方法でファイナライズされたCD-RおよびCD-RW

● ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。

上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

● DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCD、DVD-ROM、CD-ROMなどは再生できません。
● コピーコントロールCDやDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RWについて

本機は音楽CDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

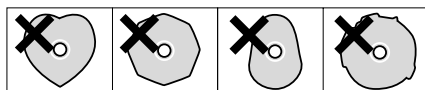
● CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
● ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
● CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

ディスクの取扱い

● ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
● ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

取り出し方　　持ち方

使用上の注意

● ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
● ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
● ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。
● 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
● ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

お手入れ

- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。

- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RWは、通常のCDと比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

MP3/WMAについて

本機は、CD-R/CD-RWディスク、SDカード、USBフラッシュメモリーやMP3プレーヤー、HDDなどのUSBストレージデバイスに記録されたMP3ファイルやWMAファイルを再生することができます。パソコンなどを使ってMP3ファイルまたはWMAファイルを作成する際は、使用するソフトウェアのマニュアルをよくお読みください。

- 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですが正しく表示できません。
- MP3/WMAファイルの認識はファイル拡張子(MP3の場合は「.mp3」、WMAの場合「.wma」)で行います。ファイル名には必ず拡張子を付けてください。
- 拡張子のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子をつけていてもMP3またはWMAデータ形式でないファイルは再生できません。
- 本機で再生できるMP3ファイルは、モノラルまたはステレオのMPEG-1 Audio Layer 3フォーマットで、サンプリングレートが44.1または48 kHz、ビットレートが320 kbps以下のファイルとなります。
- 本機で再生できるWMAファイルは、サンプリングレートが44.1kHz、ビットレートが192kbps以下のファイルとなります。
- 可変ビットレートで記録されたファイルは、正常に再生できないことがあります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。MP3/WMAファイルを記録した機器でファイナライズしておいてください。
- ISO9660規格で記録されていないディスクは再生できません。
- ファイル数が999、フォルダ数が255を超えて記録してあるディスクについては、1000番目以降のファイル、256番目以降のフォルダは本機で再生できません。
- マルチセッションで記録されたディスクには対応していません。最初のセッションのみ再生します。
- ディスクの状態によっては、本機で再生できなかったり、音が途切れることがあります。
- 著作権保護された音楽ファイルは本機で再生することはできません。

iPodを使うには

本機で使用できるiPod

本機で使用できるiPodは､以下のとおりです。

iPod（第４世代および第５世代）
iPod classic
iPod nano（第１世代から第５世代）
iPod touch（第１世代から第３世代）

- iPhoneは、設定で「機内モード」をオンにすれば、本機で音声を聴くことができます。

本機で使用できるiPodについては、以下の弊社ホームページのiPod対応表もご覧ください。

http://www.teac.co.jp/audio/teac/support_ipod.html

iPod用ソフトウェア

お使いのiPodが本体やリモコンの操作ボタンで正常に動作しない場合、最新のiPodソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。
以下のサイトにアクセスして最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

http://www.apple.com/jp/downloads/

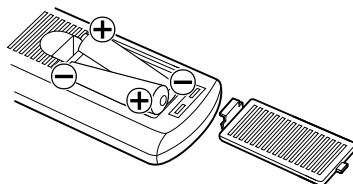
リモコンの使い方

使用上の注意

⚠ **乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5ページの注意をよく読んでお使いください。**

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

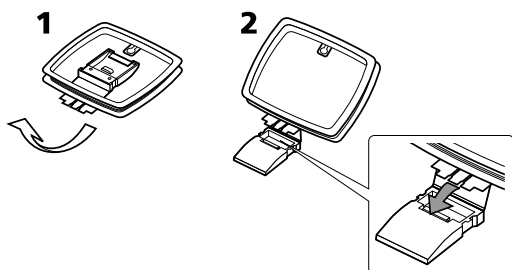
リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて乾電池(単４形)2本を入れて、フタを閉めてください。

電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

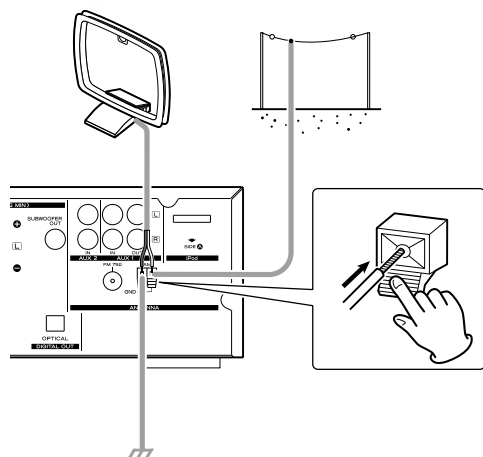
アンテナの接続

AMアンテナ

AM室内アンテナ

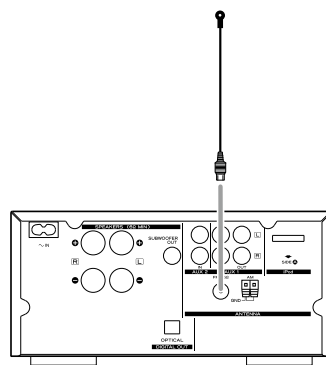
付属のAMループアンテナを組み立て、リアパネルのAMアンテナ端子に接続します。

アンテナコードは黒い方をGNDに、白い方をもう片方の端子に接続してください。
AM放送の受信中にこのアンテナを回して、受信状態が一番良い向きに置いてください。
また、アンテナコードはできるだけ電源コードやスピーカーコードなどと離してください。

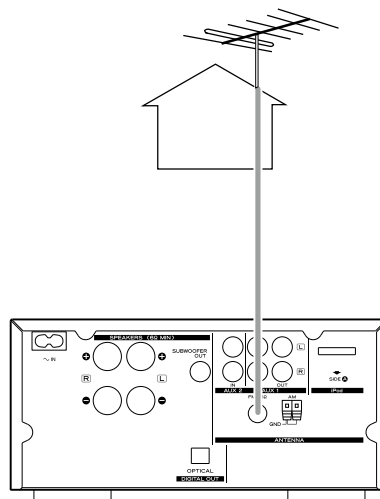
AM屋外アンテナ

AM電波の弱い地域では、6〜15mのビニール線を窓際か屋外に水平に張り、AM端子のGNDでない側に接続してください。

- 屋外アンテナを使用するときは、必ずGND端子をアースにつないでください。
- 屋外アンテナと接続する場合でも、付属のAMループアンテナは接続したままにしてください。

FMアンテナ

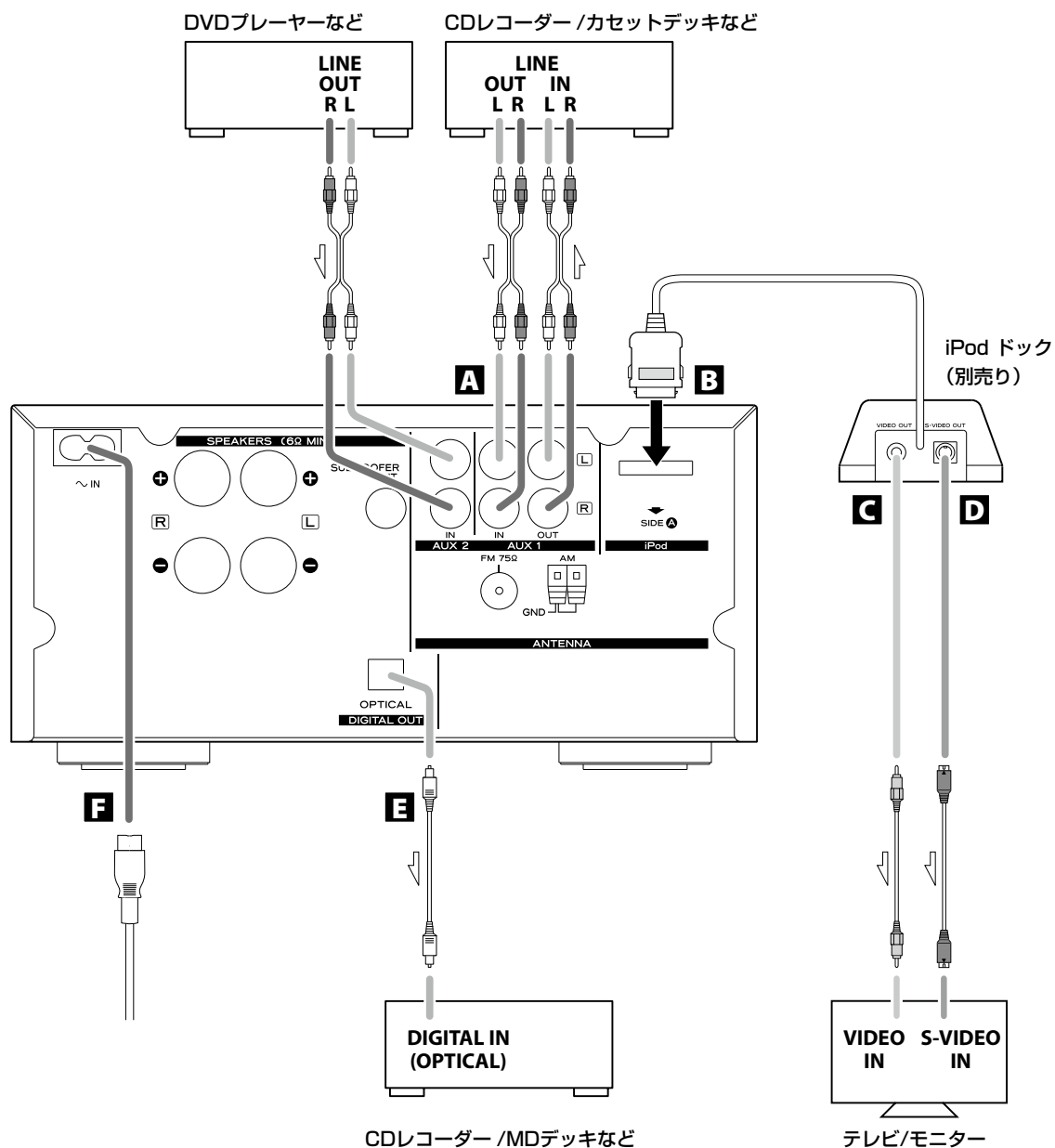
FM室内アンテナ

付属のFMアンテナをリアパネルのFMアンテナ端子に接続し、アンテナを伸ばします。
受信状態が最もよくなる位置の窓枠や壁などにアンテナを固定してください。

FM屋外アンテナ

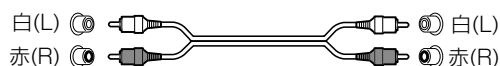
FM電波の弱い地域では３素子の屋外アンテナ（市販品）を使用し、75Ω同軸ケーブルで接続してください。
特に電波の弱い地域では、５素子以上のアンテナを使用してください。

- 屋外アンテナと接続する場合は、FM屋内アンテナは外してください。

接続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。

A アナログ音声入出力端子 [AUX1/AUX2]

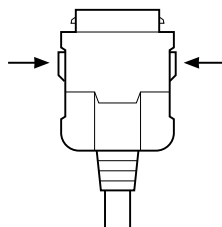
アナログの音声が出入力されます。
市販のオーディオケーブルを使って、各機器と本機の入出力端子に接続してください。

● オーディオケーブルは白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。

● プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

B iPodドック

別売りのiPodドックを、本機のiPod端子に接続します。

● 接続の際、コネクタのラベル(SIDE A)面を下に向けて接続してください。
● コネクタは、カチッと音がするまでしっかり差し込んでください。

コネクタを抜くときは、コネクタの両側を押さえながら引き抜いてください。

C 映像出力端子 [VIDEO OUT]

iPodの映像信号を出力します。
市販のコンポジットビデオケーブルを使って、テレビやモニターの映像入力端子と接続してください。

D S映像出力端子 [S-VIDEO OUT]

iPodのS映像信号を出力します。
市販のSビデオケーブルを使って、テレビやモニターのS映像入力端子と接続してください。

E デジタル音声出力端子 [DIGITAL OUT]

市販の光ケーブルを使って、デジタル入力端子付きのアンプやデジタル録音機器(MDデッキ、CDレコーダーなど)、DAコンバーターのデジタル入力端子と接続してください。

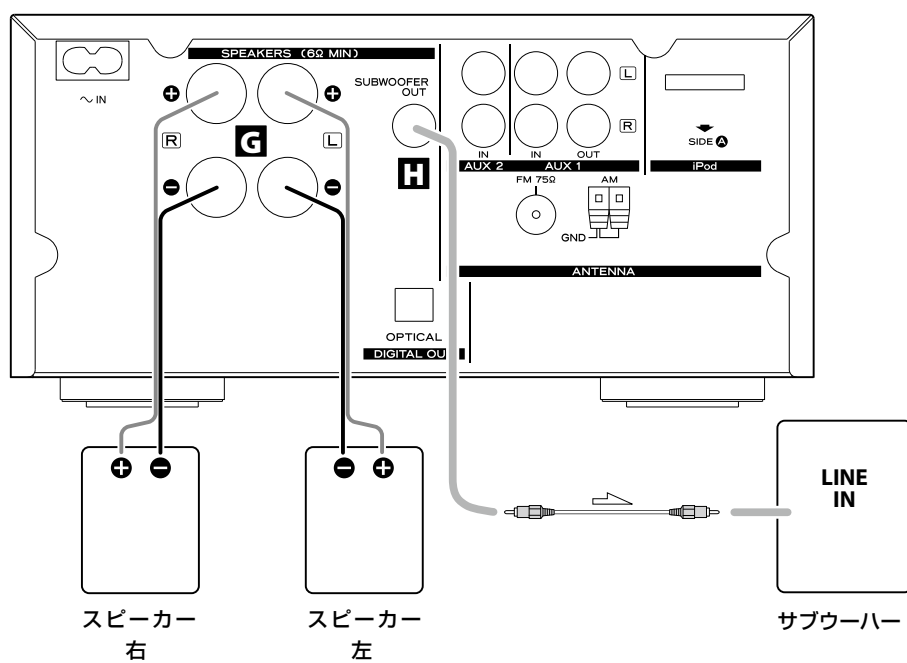
F 電源コード

全ての接続が終わったら、電源コードを本機に接続し、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

● 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠注意
交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

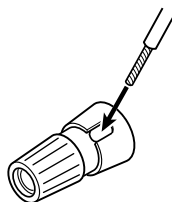
接続（続き）

SPEAKERS (6Ω MIN)
~IN
R
G
L
SUBWOOFER OUT
H
IN
IN
OUT
AUX 2
AUX 1
L
R
SIDE A
iPod
FM 75Ω
AM
GND
ANTENNA
OPTICAL
DIGITAL OUT
LINE IN
スピーカー 右
スピーカー 左
サブウーハー

G スピーカー端子

スピーカーを接続します。市販のスピーカー専用ケーブルを使って、スピーカーと接続してください。

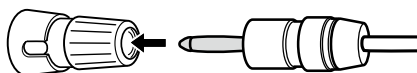
- 本機の赤い端子が⊕、黒い端子が⊖になります。スピーカーケーブルのマークされている側を⊕端子に、もう片方のケーブルを⊖端子に接続してください。
- スピーカーは公称インピーダンスが6Ω以上のものをお使いください。
- スピーカーケーブルの先端の芯線が露出している部分が、他のケーブルや端子に接触するとショートすることがあります。
  スピーカーケーブルは絶対にショートさせないでください。
- 雑音を防ぐため、スピーカーケーブルは電源コードなどその他のケーブルと一緒に束ねないでください。

接続のしかた

1 接続端子のつまみを左に回してゆるめる。
2 芯線を切り欠き部に挿入し、つまみを右に回してしっかり締め付ける。

3 ケーブルを軽く引っ張り、しっかり挿入されているか確認する。

バナナプラグでの接続

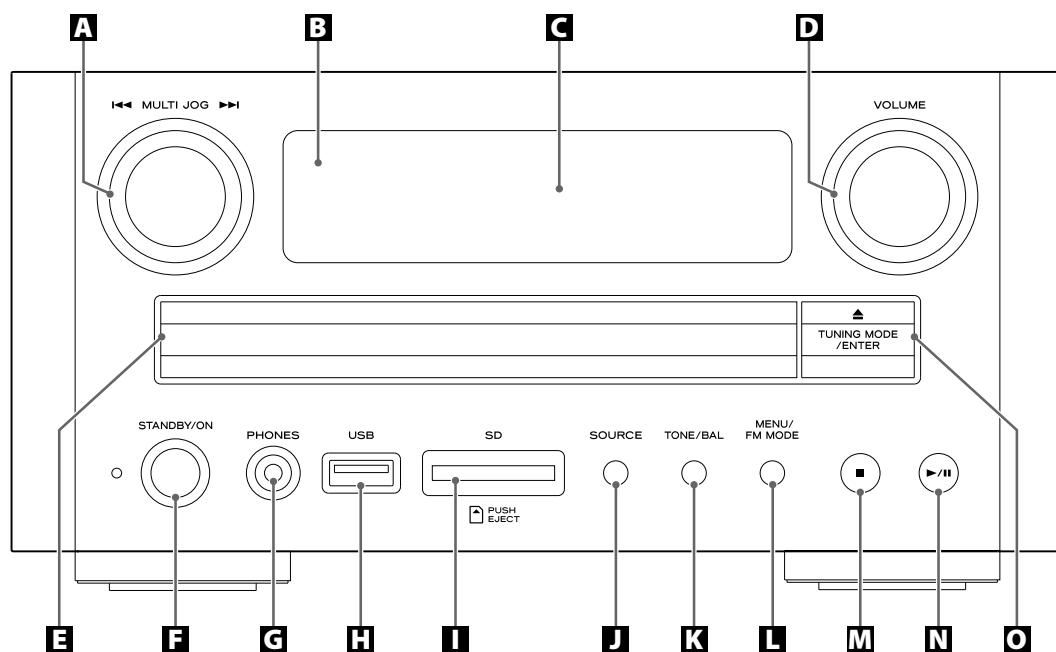
市販のバナナプラグを使用して接続することもできます。スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、プラグをターミナルに差し込みます。

- つまみを締めた状態でご使用ください。
- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。

H サブウーハー端子 [SUBWOOFER OUT]

小型のスピーカーを使用している場合は、サブウーハーを接続して低音を補強することができます。市販のオーディオケーブルを使って、サブウーハーと接続してください。

- サブウーハーは、市販のアンプ内蔵のパワード・サブウーハーをお使いください。メインスピーカーとのバランスを取るために、聴き慣れたソースを再生しながら、サブウーハーの音量を調節します。曲によっては、お好みで調節してください。

各部の名称（本体）

A
B
C
D
MULTI JOG
VOLUME
TUNING MODE
/ENTER
STANDBY/ON
PHONES
USB
SD
PUSH
EJECT
SOURCE
TONE/BAL
MENU/
FM MODE
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O

A 選局/設定つまみ [MULTI JOG]

CD/USB/SDモードのとき、前または後ろの曲にスキップします。
iPodモードのとき、iPodのメニュー項目をスクロールします。iPodのクリックホイールと同じ機能です。
チューナーモードのとき、放送局やプリセットチャンネルを選びます。
トーン/バランスボタン(TONE/BAL)を押したあと、高音、低音、バランスを調節します。

B リモコン受光部

リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

C ディスプレー

D 音量つまみ [VOLUME]

音量を調節します。

E ディスクトレー

F スタンバイ/オンボタン [STANDBY/ON]

電源のオン/スタンバイ(オフ)を切り換えます。

G ヘッドホン端子[PHONES]

ヘッドホンのφ3.5 mmステレオミニプラグを接続します。

H USB端子

USBメモリーを接続します。

I SDカードスロット

SDカードを差し込みます。

J 入力切換ボタン [SOURCE]

ソースを選択するときに使用します。

K トーン/バランスボタン [TONE/BAL]

高音、低音、バランスを調節します。選局/設定つまみ(MULTI JOG)と組み合わせて使います。

L メニュー /FMモードボタン [MENU/FM MODE]

iPodモードのとき、このボタンを押すとひとつ前のメニューを表示します。iPodのMENUボタンと同じ機能です。
FM放送の受信時、ステレオとモノラルを切り換えます。

M 停止ボタン [■]

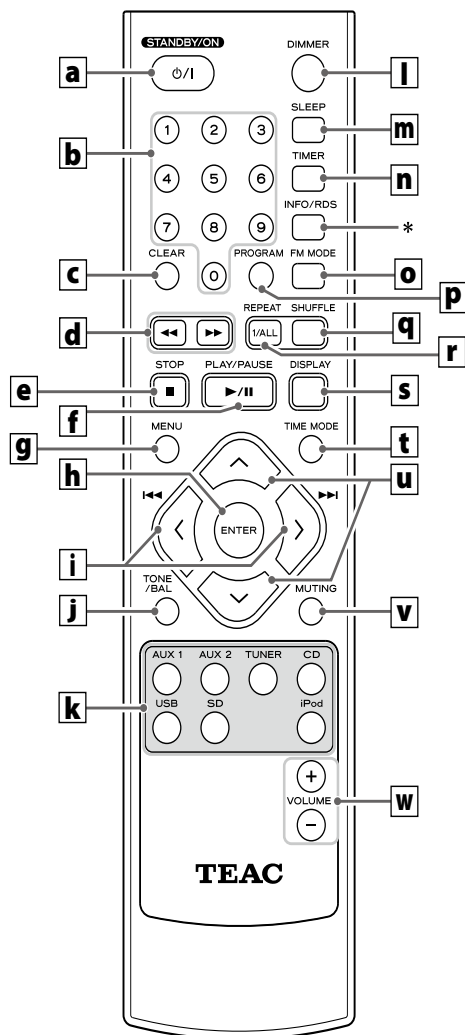
CD/USB/SDモードのとき、再生を停止します。

N 再生/一時停止ボタン [►/❚❚]

CD/USB/SD/iPodモードのとき、再生/一時停止に使います。

O 開閉、チューニングモード/エンターボタン [⏏、TUNING MODE/ENTER]

CDモードのとき、ディスクトレーを開閉します。
iPodモードのとき、iPodのメニュー項目の選択に使います。iPodの選択ボタンと同じ機能です。
チューナーモードのとき、チューニングモードを選択します。
時計やタイマーなどを設定しているときは、設定内容を確定します。

各部の名称(リモコン)

* このボタンは本機では使用できません。

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

a スタンバイ/オンボタン [⏻/I]

電源のオン/スタンバイ(オフ)を切り換えます。

b 数字ボタン

CD/USB/SDモードのとき、選曲などに使用します。数字ボタンでの選曲方法は26ページをご覧ください。

チューナーモードのとき、プリセットされた放送局を選択できます。

c クリアーボタン [CLEAR]

CD/USB/SDモードのとき、入力中の数字を削除します。

d サーチボタン [◀◀/▶▶]

CD/USB/SD/iPodモードのとき、早送り/早戻しに使います。

チューナーモードのとき、押したままにするとオート選局が始まります。

e 停止ボタン [■]

CD/USB/SDモードの再生時、再生を停止します。

● iPodモードのときは働きません。

f 再生/一時停止ボタン [▶/II]

CD/USB/SD/iPodモードのとき、再生/一時停止に使います。

g メニューボタン [MENU]

iPodモードのとき、このボタンを押すとひとつ前のメニューを表示します。iPodのMENUボタンと同じ機能です。

h エンターボタン [ENTER]

CD/USB/SDのプログラムモードで、曲の選択に使います。

iPodモードのとき、iPodのメニュー項目の選択に使います。iPodの選択ボタンと同じ機能です。

i カーソルボタン [〈/〉]

タイマー /時刻の設定をするとき、設定する項目を選びます。

スキップボタン [I◀◀/▶▶I]

CD/USB/SD/iPodモードのとき、前または後ろの曲にスキップします。

ラジオモードのとき、プリセットされた放送局を選択できます。

j トーン/バランスボタン [TONE/BAL]

高音、低音、バランスを調節します。スクロールボタン(∧/∨)と組み合わせて使います。

k 入力切換ボタン

ソースを選択するときに使用します。
チューナーボタン(TUNER)を押すと、AM/FMが切り換わります。

l ディマーボタン [DIMMER]

ディスプレーの明るさを調節します。

m スリープボタン [SLEEP]

スリープタイマーを設定します。

n タイマーボタン [TIMER]

タイマーのオンとオフを切り換えます。

o FMモードボタン [FM MODE]

FM放送受信時、ステレオとモノラルを切り換えます。

p プログラムボタン [PROGRAM]

CD/USB/SDモードのとき、プログラム再生に使用します。
チューナーモードのとき、放送局のプリセットに使います。

q シャッフルボタン [SHUFFLE]

CD/USB/SD/iPodモードのとき、シャッフル再生に使います。

r リピートボタン [REPEAT 1/ALL]

CD/USB/SD/iPodモードのとき、リピート再生に使います。

s ディスプレーボタン [DISPLAY]

CD/USB/SDモードのとき、再生中に表示される情報を変更します。

t タイムモードボタン [TIME MODE]

カーソルボタン(</>)と組み合わせて、タイマー設定をするときに使います。

u スクロールボタン [∧/∨]

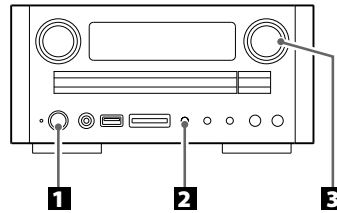
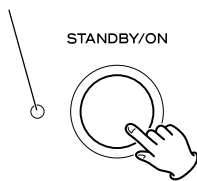
CD/USB/SDモードのとき、フォルダの選択をします。(MP3/WMAのみ)
iPodモードのとき、iPodのメニュー項目のスクロールをします。iPodのクリックホイールと同じ機能です。
チューナーモードのとき、周波数を変更するのに使います。
時刻またはタイマーを設定しているとき、設定する時刻や分の調整をします。
トーン/バランスボタン(TONE/BAL)を押した後、高音、低音、バランスを調節します。

v 消音ボタン [MUTING]

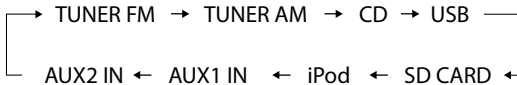
一時的に音を消します。

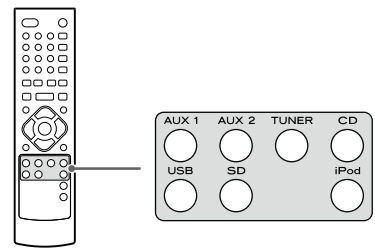
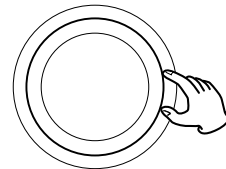
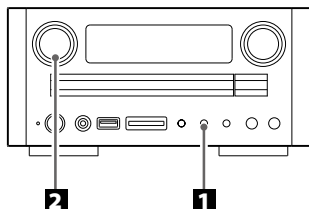
w 音量ボタン [VOLUME +/ −]

音量を調節します。+を押すと大きくなり、−を押すと小さくなります。

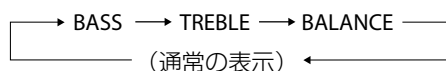
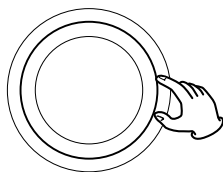
基本操作

1 スタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)を押して電源をオンにする。

2 入力切換ボタン(SOURCE)を繰り返し押してソースを選ぶ。

入力切換ボタン(SOURCE)を押すたびに、ソースは以下のように変わります。

→ TUNER FM → TUNER AM → CD → USB
AUX2 IN ← AUX1 IN ← iPod ← SD CARD ←

- アナログ音声入力端子に接続した機器の音声を聴きたいときは、AUX1 INまたはAUX2 INを選びます。

- リモコンでソースを選ぶときは、聴きたいソースのボタン(AUX1、AUX2、TUNER、CD、USB、SD、iPodボタン)を押します。

3 再生を開始して、音量つまみ(VOLUME)を回して音量を調節する。

音域やバランスを変えるには

1 トーン/バランスボタン(TONE/BAL)を押して、変更したい項目を選ぶ。

TONE/BAL

→ BASS → TREBLE → BALANCE →（通常の表示）→

2 3秒以内に選局/設定つまみ(MULTI JOG)を回して、設定を変更する。

3 3秒間そのままにして、設定モードを終了する。

● 続けてその他の項目を変更する場合は、3秒以内にトーン/バランスボタン(TONE/BAL)を押して項目を選んでください。

設定できる項目と設定

BASS(低音域)

低音域を調整します。
設定できる範囲: −10〜+10

```
BASS         0
```

TREBLE(高音域)

高音域を調整します。
設定できる範囲: −10〜+10

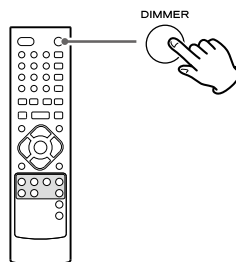
```
TREBLE       0
```

BALANCE(バランス)

左右のバランスを調整します。
設定できる範囲: L +16〜R +16
通常は中央(BALANCE CENTER)に設定してください。

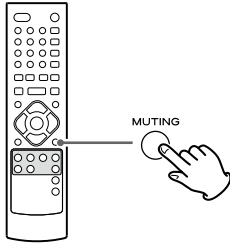
```
BALANCE   CENTER
```

ディマー

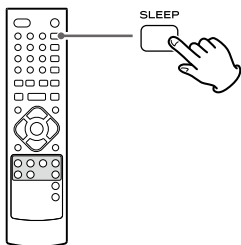
ディスプレーの明るさを調整します。
オン(ON)にすると、ディスプレーが暗くなります。

```
DIMMER
```

● ディマーがオンの状態で電源を切ると、次に電源を入れたときは通常の明るさになります。

一時的に音を消すには

消音ボタン(MUTING)を押すと一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- ミュート機能が働いているときは、ディスプレーに「MUTING」が表示されます。
- ミュート機能が働いているときに音量を調整すると、ミュート機能は解除されます。

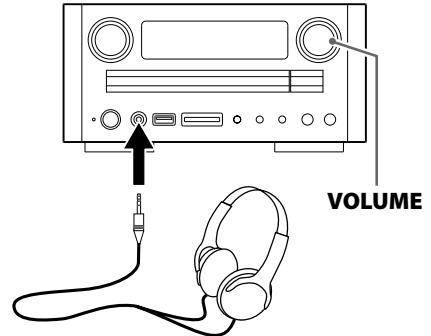
スリープタイマー

一定時間後に電源を自動的にスタンバイ状態にする機能です。
スリープボタン(SLEEP)を押すたびに、時間が変わります。90分から10分まで、以下のように設定できます。

SLEEP 90（60、30、20、10）
90（60、30、20、10）分後に自動的にスタンバイ状態にします。

SLEEP OFF
スリープタイマーを停止します。

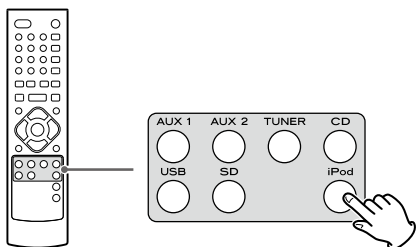
- スリープタイマー機能が働いているときは、ディスプレーが暗く（ディマーがオンの状態に）なります。
- スリープタイマーが働いているときにスリープボタン(SLEEP)を１回押すと、スタンバイになるまでの残り時間が３秒間表示されます。

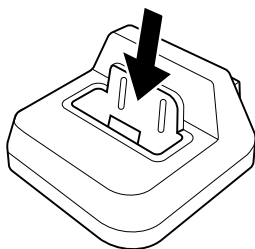
ヘッドホンを接続する

ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を下げてからヘッドホンプラグをヘッドホン端子に差し込み、音量つまみ(VOLUME)で音量を調節してください。ヘッドホンプラグが差し込まれているときは、本機に接続されているスピーカーから音声は出力されません。

- ヘッドホンを接続中はサブウーハーから音声は出力されません。

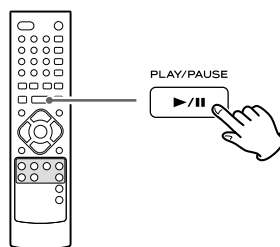
iPodを聴くには

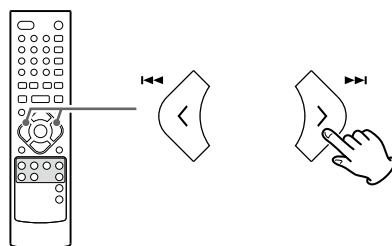
iPodの再生の前に、8ページの「iPodを使うには」をお読みください。

1 iPodボタン(iPod)を押す。

iPodがドック（別売り）に差し込まれていないと、「Not Connected」とディスプレーに表示されます。
すでにiPodが差し込まれているときは、再生が始まります。

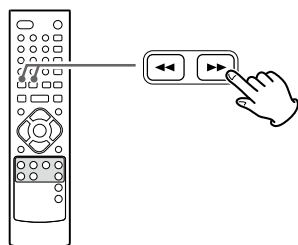
2 ドックにiPodを差し込む。

「Connected」とディスプレーに表示されます。
自動的にiPodの電源が入り、iPodのプレイリストにしたがって再生が始まります。

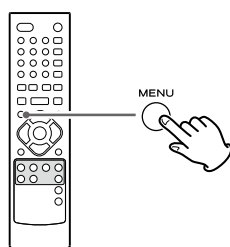
- 本機のドックにiPodをセットすると、本機の電源がオンの間は常にiPodを充電します。フル充電すると充電を停止します。スタンバイの時は充電しません。
- ヘッドホンがiPodにつながれていると、ヘッドホンと本機のスピーカー両方から音声が出ます。
- ドックにテレビまたはモニターが接続されていると、iPodに保存されたビデオを鑑賞することができます。iPodのテレビ出力をオンにしてください。
- iPodモードのとき、停止ボタン(■)は働きません。

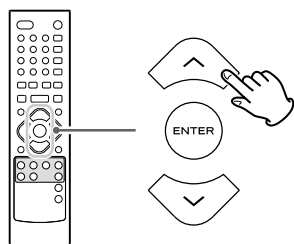
再生を一時停止するには

再生中に再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと再生が一時停止します。
一時停止中に再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと、再び再生を始めます。

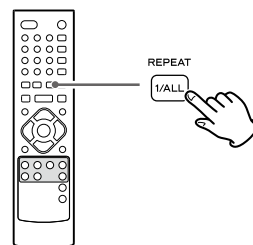
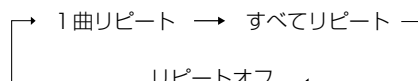
聴きたい曲を探すには

再生中または一時停止中にスキップボタン(❙◄◄ / ►►❙)を押すと、前または後ろの曲にスキップします。聴きたい曲が選ばれるまで、繰り返し押してください。

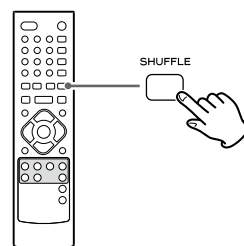
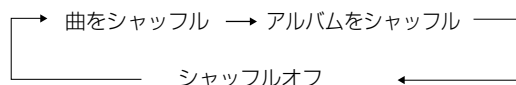
- 再生中は、❙◄◄ を1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。再生中の曲より前の曲を再生したいときは、❙◄◄ を繰り返し押してください。

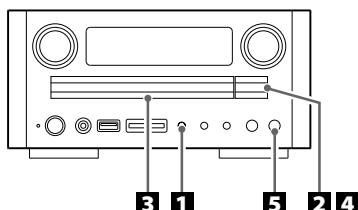
聴きたい部分を探すには

再生中にサーチボタン(◀◀/▶▶)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

前のメニューに戻るには

メニューボタン(MENU)を押すと、ひとつ前のメニューを表示します。iPodのMENUボタンと同じ機能です。

メニュー項目を選ぶには

カーソルボタン(∧/∨)を使って項目を選び、エンターボタン(ENTER)を押して選んでください。

リピート再生

リピートボタン(REPEAT 1/ALL)を押すたびに、以下のようにiPodのリピートのモードが切り換わります。

- 1曲リピートにしたときには、iPodのディスプレーに が表示されます。
  すべてリピートにしたときには、iPodのディスプレーに が表示されます。

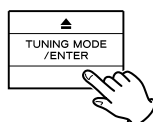
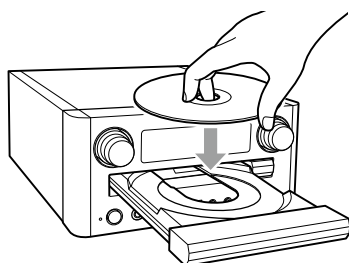
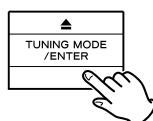
シャッフル再生

シャッフルボタン(SHUFFLE)を押すたびに、以下のようにiPodのシャッフルのモードが切り換わります。

- シャッフルモードをオンにしたときには、iPodのディスプレーに が表示されます。

CDを聴くには

1 入力切換ボタン(SOURCE)を繰り返し押して「CD」を選ぶ。

リモコンで操作する場合はCDボタンを押してください。

SOURCE

CDが入っていない場合は、「No Disc」と表示されます。

2 開閉ボタン(▲)を押す。

3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーに乗せる。

4 開閉ボタン(▲)を押す。

ディスクトレーが閉まります。指を挟まないようにご注意ください。

- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。ディスクの読み込み中は、ボタンを押しても機能しませんので、ディスプレーに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。

オーディオCD
ディスクの総曲数と総再生時間が表示されます。

```
CD/Stop  AM09:00
T023  65:10
```

MP3/WMAディスク
ディスクのフォルダとファイルの数が表示されます。

```
CD/Stop  AM09:00
F031 T999
```

5 再生/一時停止ボタン(►/II)を押す。

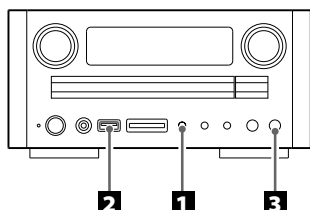
1曲目から再生が始まります。

オーディオCDを聴くとき

MP3/WMAを聴くとき

現在の曲のファイル番号　現在の曲の経過時間

- フォルダに入っていないMP3/WMAファイルは自動的に「ROOT」フォルダに入れられ、ROOTフォルダの1曲目から再生が始まります。
- MP3/WMAファイルが入っていないフォルダはスキップします。
- すべての曲の再生が終わると、自動的に再生が止まります。
- ディスクトレーが開いたままで、再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと、ディスクトレーが閉まり再生が始まります。

USBメモリーを再生するには

本機はUSBフラッシュメモリーを始め、MP3プレーヤーやHDDなど、さまざまなUSBストレージデバイスに保存されたMP3/WMAファイルを再生することができます。

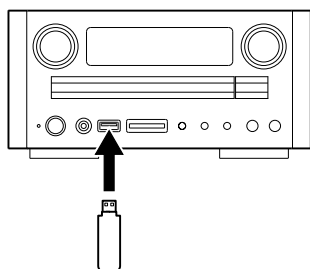
- 本機は32GBまでのUSBメモリーに対応しています。

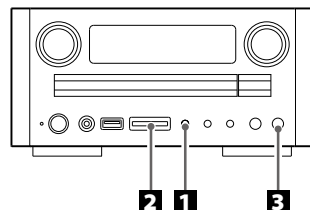
1 入力切換ボタン(SOURCE)を繰り返し押して「USB」を選ぶ。

リモコンで操作する場合はUSBボタンを押してください。

USBが接続されていない場合は、「No USB」と表示されます。

2 USBメモリーをUSB端子に接続する。

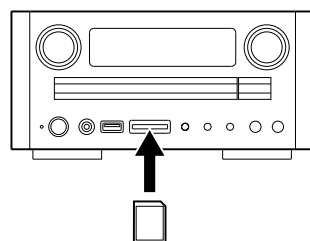
HDD（ハードディスクドライブ）を接続したときは、ディスプレーに表示が出るまで数分かかる場合があります。

3 再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押す。

SDカードを再生するには

SDカードに入ったMP3/WMAファイルを本機で再生することができます。

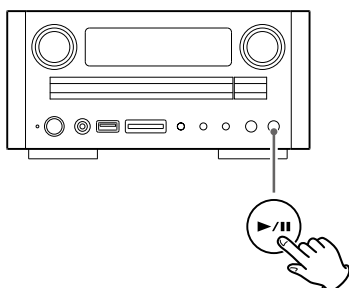
1 入力切換ボタン(SOURCE)を繰り返し押して「SD CARD」を選ぶ。

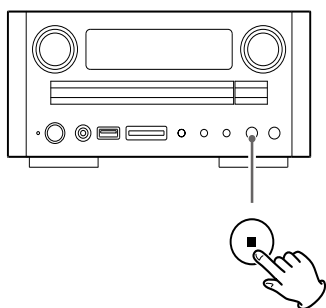
リモコンで操作する場合はSDボタンを押してください。

SDカードが挿入されていない場合は、「No SD」と表示されます。

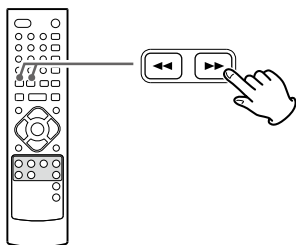
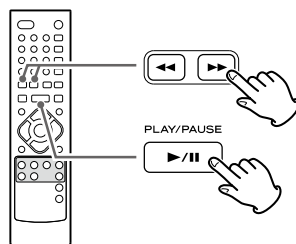
2 SDカードをSDカード端子に挿入する。

3 再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押す。

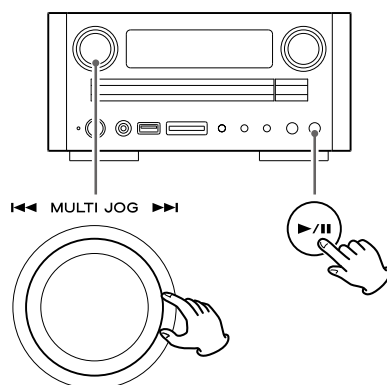
その他の基本再生(CD/USB/SD)

再生を一時的に停止する

再生中に再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと、再生が一時的に停止します。再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと、一時停止したところから再び再生が始まります。

再生を停止する

停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

聴きたい部分を探す

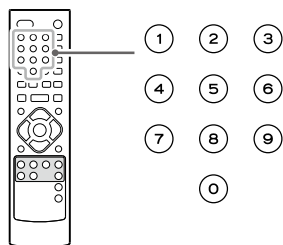
聴きたい部分を探すには二通りの方法があります。

再生中にサーチボタン(◄◄/►►)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

または、再生中にサーチボタン(◄◄/►►)を１回押すと早送り/早戻しになります。聴きたい部分が見つかったら再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押してください。

聴きたい曲を探す

再生中に選局/設定つまみ(MULTI JOG)を回すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて回してください。
選択された曲の始めから再生を始めます。

停止中または一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で(一時)停止状態になります。再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと、再生が始まります。

- プログラム再生中は、プログラム中の次または前の曲が再生されます。

ダイレクト再生(CD/USB/SD)

停止中または再生中に、リモコンの数字ボタンを使って曲を選択できます。

数字ボタンで曲を選びます。選んだ曲から再生が始まります。

例：

曲番２を選ぶとき：

「0」「0」「2」を押すか、「２」を押して再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押します。

● 「２」を押してから数秒経つと、曲番２から再生が始まります。

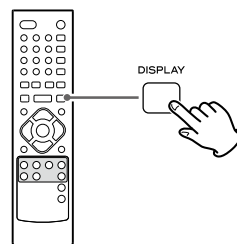
曲番12を選ぶとき：

「0」「１」「2」を押すか、「１」「２」を押して再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押します。

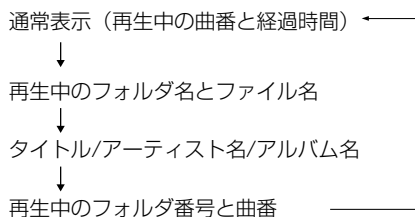
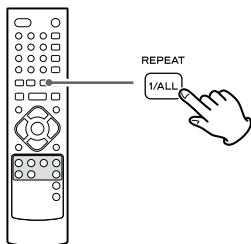
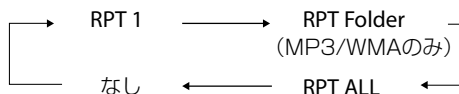
● 「1」「２」を押してから数秒経つと、曲番12から再生が始まります。

曲番123を選ぶとき：

「1」「2」「3」を押します。(MP3/WMAディスクのみ)

ディスプレーの表示

再生中にディスプレーボタン(DISPLAY)を押すと、ディスプレーに表示される情報が変わります。

オーディオCDのとき：

MP3/WMAのとき：

リピート再生(CD/USB/SD)

再生中にリピートボタン(REPEAT 1/ALL)を押すたびにリピート再生のモードは以下のように変わります。

● 再生を停止したとき、または再生中のソースを別なものに切り換えたときはリピート再生は解除されます。

1曲リピート(RPT 1)

再生中の曲が繰り返し再生されます。スキップボタン(⏮/⏭)で他の曲を選ぶと、選択された曲が繰り返し再生されます。

フォルダリピート(RPT Folder) (MP3/WMAのみ)

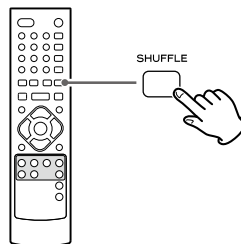
フォルダ内のすべての曲が繰り返し再生されます。

● ディスクにフォルダがないとき、このモードは選べません。

全曲リピート(RPT ALL)

すべての曲が繰り返し再生されます。

● プログラム再生中にこのモードを選択すると、プログラムされたすべての曲が繰り返し再生されます。

シャッフル再生(CD/USB/SD)

再生中または停止中にシャッフルボタン(SHUFFLE)を押すと、「Random」とディスプレーに表示され、すべての曲がランダムに再生されます。

● シャッフル再生中に(⏭)を押すと、次の曲がランダムに選ばれます。(⏮)を押したときは、再生中の曲が最初から再生されます。

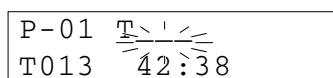
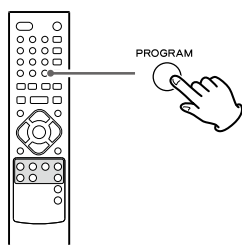
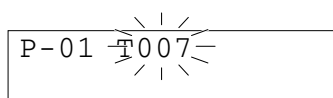
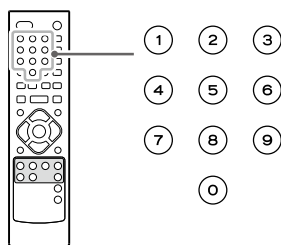
● シャッフル再生を解除するには、シャッフルボタン(SHUFFLE)を押してください。

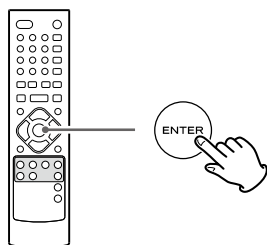
● シャッフル再生を停止するには、停止ボタン(■)を押してください。

プログラム再生(CD/USB/SD)

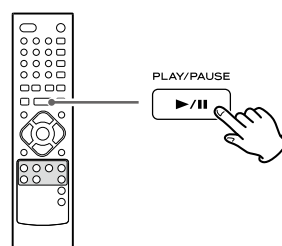
30曲までプログラムできます。

1 停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押す。

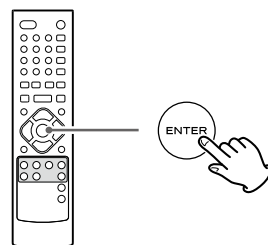
P-01 T---
T013 42:38

2 数字ボタンを使って曲を選ぶ。

- スキップボタン(⏮/⏭)で曲を選ぶこともできます。

3 エンターボタン(ENTER)を押す。

4 2と3を繰り返して、曲を追加する。

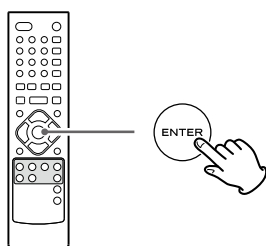
- 間違えてプログラムした場合、クリアーボタン(CLEAR)を押すと最後にプログラムした曲だけが削除されます。
- 最大30曲までプログラムできます。それ以上プログラムしようとすると、「PROG FULL」とディスプレーに表示されます。

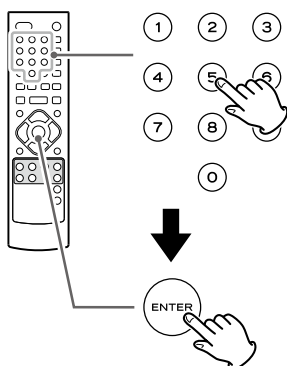
5 プログラム終了後、再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押す。

プログラム再生が始まります。

- プログラム再生の終了後、またはプログラム再生を停止したとき、再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと再びプログラム再生が始まります。
- 停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押すと、プログラムした内容が消去されます。

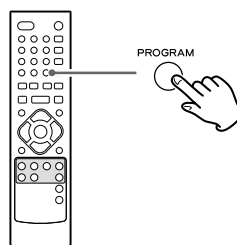
プログラムの内容をチェックする

停止中にエンターボタン(ENTER)を繰り返し押します。プログラム番号とプログラムした曲番が順番にディスプレーに表示されます。

プログラムを修正するには

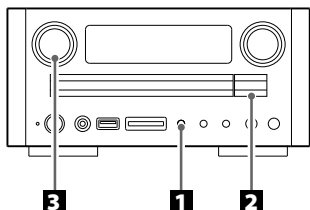
1 停止中にエンターボタン(ENTER)を繰り返し押して、修正したいプログラム番号を表示させる。

● プログラムの最後に曲を追加したい場合は、「T_ _ _」が表示されるまでエンターボタン(ENTER)を繰り返し押してください。

2 新しい曲番を選んでエンターボタン(ENTER)を押す。

● スキップボタン(⏮/⏭)で曲を選ぶこともできます。

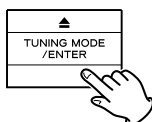
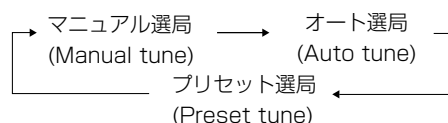
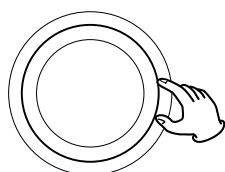
プログラムが上書きされます。
プログラムの最後、「T_ _ _」を表示させてから選んだ場合は、選んだ曲番が最後に追加されます。

プログラムの内容を消去するには

停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押します。

● 以下のような場合にも、プログラム内容が消去されます:
入力切換ボタン（AUX1、AUX2、TUNER、CD、USB、SD、iPod）、またはスタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)を押したとき
ディスクトレーを開けたとき
電源コードを抜いたとき

ラジオを聴くには

1 入力切換ボタン(SOURCE)を繰り返し押して「TUNER FM」または「TUNER AM」を選ぶ。

リモコンで操作する場合はTUNERボタンを繰り返し押してください。

2 チューニングモードボタン(TUNING MODE)を押してチューニングモードを選ぶ。

押すたびに、チューニングモードが以下のように変わります。

3 選局/設定つまみ(MULTI JOG)を回して選局する。

マニュアル選局(Manual tune)

選局/設定つまみ(MULTI JOG)で放送局を選択します。
リモコンのスクロールボタン(∧/∨)も使えます。
周波数は固定されたステップで変わります。(FM：100kHzステップ、AM：9kHzステップ)

オート選局(Auto tune)

選局/設定つまみ(MULTI JOG)を回すと選局が自動的に始まり、放送局を受信すると止まります。
聴きたい放送局を受信するまで、上記の手順を繰り返します。

● オート選局を中止したい場合は、停止ボタン(■)を押してください。

プリセット選局(Preset tune)

選局/設定つまみ(MULTI JOG)でプリセットされた放送局を選択します。
リモコンのスキップボタン(⏮/⏭)も使えます。
選択された放送局を受信します。

● プリセットの方法は、31ページを参照してください。

受信状態が悪いときは

FMアンテナまたはAMアンテナの向きを変えて、最も良く受信できる位置を探してください。

FMモード

FMモードボタン(FM MODE)を押すたびに、ステレオ受信とモノラル受信が切り換わります。

Stereo(ステレオ)：

FMステレオ放送をステレオで受信します。FMステレオ放送の受信中はディスプレーに「Stereo」と表示されます。

● 受信状態が悪い場合は、Mono(モノラル)で受信してください。

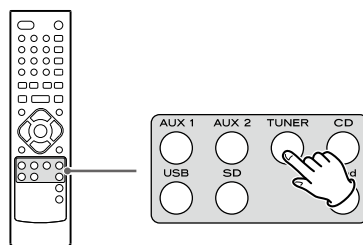
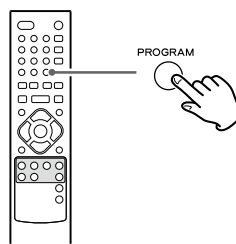
Mono(モノラル)：

FM放送をモノラルで受信します。FM放送の受信状態が悪いときにこのモードを選ぶと、音はモノラルになりますがノイズを減らすことができます。

放送局のプリセット

FM放送を30局、AM放送を15局までプリセットできます。

オートプリセット

1 チューナーボタン(TUNER)を押して、「TUNER FM」または「TUNER AM」を選ぶ。

2 プログラムボタン(PROGRAM)を3秒以上押す。

自動的に放送局を選局して、チャンネル1から順にプリセットします。

放送局のプリセット（続き）

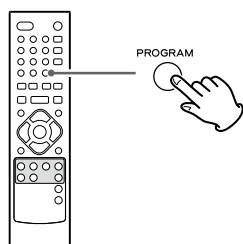
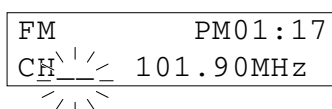
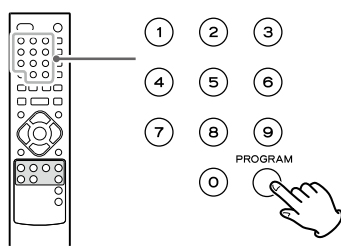
マニュアルプリセット

1 プリセットしたい放送局を受信する。

30ページを参照してください。

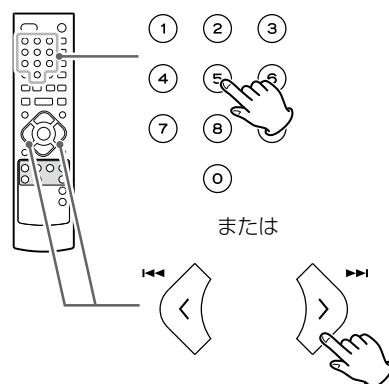
2 プログラムボタン(PROGRAM)を押す。

ディスプレーに"__"が点滅します。

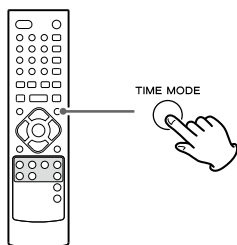
```
FM          PM01:17
CH__   101.90MHz
```

3 20秒以内に、プリセットするチャンネルを選択する。

- 例えばプリセットチャンネル「15」を選ぶときは、「1」「5」の順にボタンを押してからプロブラムボタン(PROGRAM)を押します。
  9以下のチャンネルを選ぶときは、「0」を押してからチャンネル番号の数字ボタンを押すとすばやく選ぶことができます。（またはチャンネル番号の数字ボタンを押して数秒待つと選ばれます。）
- プリセットチャンネルを選んでから20秒以内にプログラムボタン(PROGRAM)を押さないと、プリセットは行なわれません。
- 新たに放送局をプリセットすると、そのチャンネルに以前プリセットされていた放送局は上書きされます。

他の放送局をさらにプリセットするときは、**1** から **3** を繰り返します。

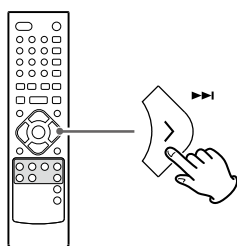
プリセットした放送局を聴くには

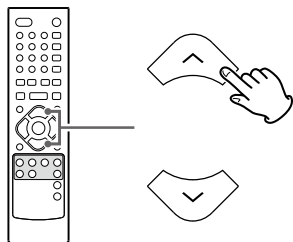
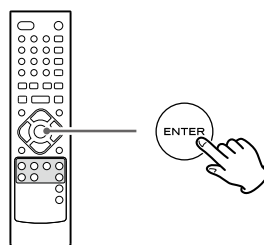
数字ボタンまたはスキップボタン(I◀◀ / ▶▶I)を押す。

- 数字ボタンが働かない場合は、チューナーボタン(TUNER)を押してから数字ボタンを押してください。

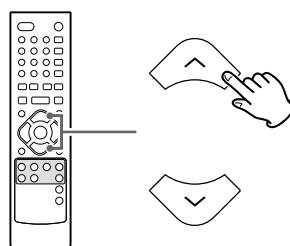
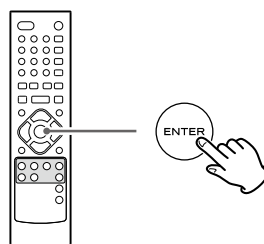
現在時刻の設定

1 タイムモードボタン(TIME MODE)を2秒以上押し続ける。

「CLOCK SETTING」とディスプレーに表示されます。

- 20秒以上何も操作しないと、時刻設定モードはキャンセルされます。
- 時計設定モードを終了させたいときは、停止ボタン(■)を押します。

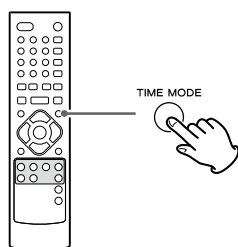
2 〉ボタンを押して「時」を選択する。

「時」表示が点滅します。

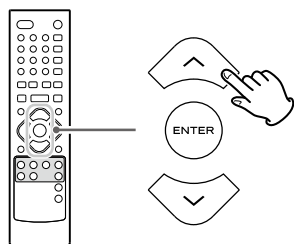
3 スクロールボタン(∧/∨)を押して「時」を合わせる。

4 エンターボタン(ENTER)を押す。

「分」表示が点滅します。

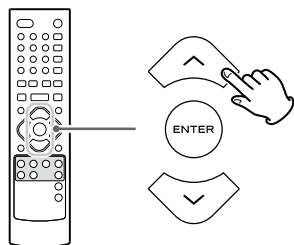
5 スクロールボタン(∧/∨)を押して「分」を合わせる。

6 エンターボタン(ENTER)を押す。

合わせた時刻の0秒から時計がスタートします。

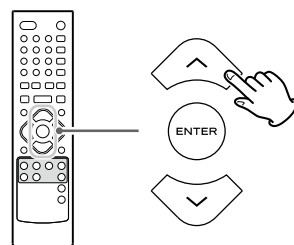
タイマーの設定

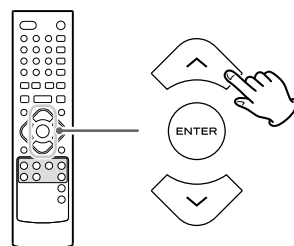
● 指定された時間に自動的に電源をオン/オフさせることができます。
● タイマーを設定する前に、現在時刻を設定してください。(33ページ)
● ボタンを押してから20秒以上何も操作しないと、タイマー設定モードはキャンセルされます。

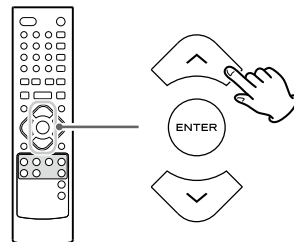
1 タイムモードボタン(TIME MODE)を押す。

タイマー開始時刻の「時」表示が点滅します。

2 スクロールボタン(∧/∨)で、開始時刻の「時」を設定し、エンターボタン(ENTER)を押す。

タイマー開始時刻の「分」表示が点滅します。

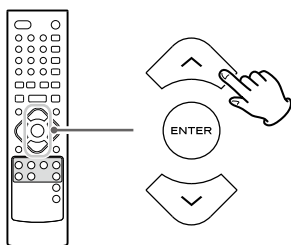
3 スクロールボタン(∧/∨)で、開始時刻の「分」を設定し、エンターボタン(ENTER)を押す。

タイマー終了時刻の「時」表示が点滅します。

4 スクロールボタン(∧/∨)で、終了時刻の「時」を設定し、エンターボタン(ENTER)を押す。

タイマー終了時刻の「分」表示が点滅します。

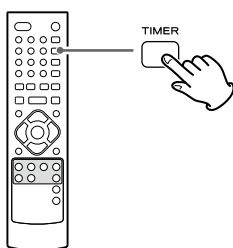
5 スクロールボタン(∧/∨)で、終了時刻の「分」を設定し、エンターボタン(ENTER)を押す。

ソース名が点滅します。

6 スクロールボタン(∧/∨)で、ソースを選び、エンターボタン(ENTER)を押す。

「TU FM」(FM放送)、「TU AM」(AM放送)、「CD」、「USB」、「SD」(SDカード)、または「iPod」から選べます。

音量レベルが点滅します。

7 **スクロールボタン(∧/∨)で、音量レベルを設定し、エンターボタン(ENTER)を押す。**

以上でタイマー設定は終了です。

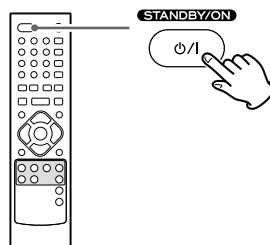
タイマーをオンにするには

1 **タイマーを設定したあと、タイマーボタン(TIMER)を押す。**

「TIMER ON」とディスプレーに表示されます。

2 **タイマー再生の準備をする。**

CDを選んだ場合は、ディスクをセットしてください。
USBを選んだ場合は、USBメモリーをセットしてください。
SDを選んだ場合は、SDカードをセットしてください。
iPodを選んだ場合は、iPodをセットしてください。

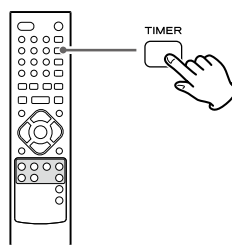
FM放送またはAM放送を選んだ場合は、放送局を受信してください。

3 **スタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)を押して本機の電源をオフにする。**

スタンバイインジケーターが5秒間隔で点滅します。

タイマーは毎日設定された時間に働きます。

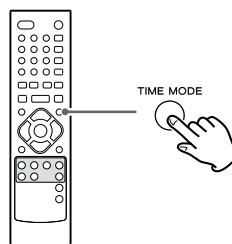
本機の電源をスタンバイ(オフ)にしないとタイマーは働きません。

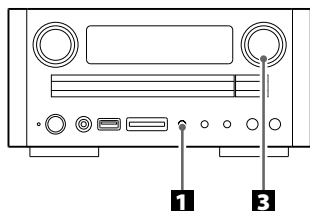
タイマーをオフにするには

タイマーボタン(TIMER)を押して、タイマーを解除してください。

「TIMER OFF」とディスプレーに表示されます。

タイマーボタン(TIMER)をもう一度押すと、タイマーが有効になります。

タイマーを確認するには

タイムモードボタン(TIME MODE)を押してタイマー設定を確認できます。

接続した機器の音を聴くには

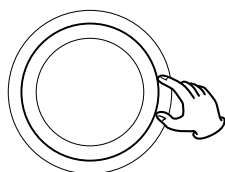
ビデオデッキ、テレビ、ポータブルプレーヤーやテープデッキなどを本機のAUX1またはAUX2端子に接続して、音声を聴くことができます。

1 入力切換ボタン(SOURCE)を繰り返し押して「AUX 1」または「AUX 2」を選ぶ。

リモコンで操作する場合はAUX1ボタンまたはAUX2ボタンを押してください。

SOURCE

2 接続した機器を再生する。

3 音量つまみ(VOLUME)で音量を調節する。

VOLUME

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスセンターにご連絡ください。

共通

電源が入らない。

➡ 電源コードの差し込みが不完全ではありませんか？電源コードがしっかりと差し込まれているか確認してください。

音が出ない。

➡ 入力切換ボタン(SOURCE)を使って、ソースを選んでください。
➡ スピーカーとの接続を確認してください。
➡ 音量を確認してください。
➡ ヘッドホン端子からヘッドホンを抜いてください。
➡ ディスプレーに「MUTING」と表示されている場合は、消音ボタン(MUTING)を押してミュートを解除してください。

雑音がする。

➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからできるだけ離して設置してください。

リモコンで操作できない。

➡ スタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)を押して、電源をオンにしてください。
➡ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
➡ 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

CDプレーヤー

再生できない。

➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
➡ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。
➡ ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは本機で再生できません。

音飛びがする。

➡ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 傷がついたディスクは使わないでください。

MP3/WMA

再生できない。

➡ ファイルのフォーマットを確認してください。

タイトル、アーティスト名、アルバム名が表示されない。

➡ ファイルにID3タグが入っていません。パソコンなどでID3タグを編集したファイルを作成し直してください。

正しく表示されない文字がある。

➡ ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

iPod

iPodをドックに差し込めない。

➡ iPodドックに正しいアダプタが取り付けられているか確認してください。
➡ 本機のiPod端子やiPodドックにごみやほこりが付着していないか確認してから、再度iPodを差し込んでください。

iPodが動作しない。

➡ 一度iPodをiPodドックから抜き、しばらくしてからiPodを差し込んでください。
➡ iPodのソフトウェアをアップデートすることで問題が解決する場合がありますので、アップルのホームページにアクセスして、最新情報を確認してください。

ラジオ

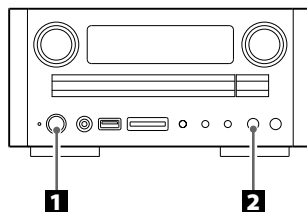
受信できない。受信状態が悪い。

➡ 放送局を選局してください。
➡ アンテナと本体の位置や向きを変えてみてください。
➡ 電波が弱い場合、屋外アンテナ(市販品)を使う必要があります。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

以上の操作をしても正常な動作をしない場合は、右記の「工場出荷状態に戻すには」の手順で、初期設定状態に戻して再度操作してください。

工場出荷状態に戻すには

本機が正常に動作しない場合、以下の手順で工場出荷時の初期設定状態に戻すことによって、正常な状態に戻ることがあります。

1 スタンバイにする。

電源がオンだった場合は、スタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)を押してスタンバイにしてください。

2 停止ボタン(■)を2秒以上押し続ける。

「FACTORY RESET FINISHED」とディスプレーに表示されます。

3 電源コードをコンセントから抜く。

4 再び電源コードをコンセントに差し込む。

すべてのメモリーが消去され、工場出荷時の設定に戻ります。

仕　様

アンプ

定格出力.......... 25W+25W(6Ω、1kHz、0.5%)
入力感度........................340mV/47kΩ
周波数特性..................... 20Hz ～ 60kHz

FMチューナー

受信周波数.................76.0MHz ～ 90.0MHz
S/N比............................56dB(Mono)
52dB(Stereo)

AMチューナー

受信周波数.................522kHz ～ 1,629kHz
S/N比.................................35dB

CDプレーヤー部

周波数特性.............. 20Hz ～ 20kHz ± 2.0dB
S/N比 ....90dB以上 (1kHz, 0dB, A weight)
全高調波歪率 0.05% (1kHz, 0dB)

USB/SDカード部

周波数特性.............. 20Hz ～ 20kHz ± 1.0dB
S/N比 ....85dB以上 (1kHz, 0dB, A weight)

一般

電源...................... 100V AC, 50-60Hz
消費電力................................ 74W
待機電力................................0.5W
外形寸法(幅、高さ、奥行)......215 x 105 x 355mm
質量..................................4.2kg

付属品

電源コード×1
リモコン(RC-1226)×1
リモコン用乾電池(単4)×2
AMループアンテナ×1
FMアンテナ×1
iPodドック(DS-20)×1
取扱説明書(本書)×1
保証書×1

● 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
● 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

■保証書
この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間
当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は
修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは
36ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は
修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み
技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他： 製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容
型名：CDレシーバー　CR-H238i
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは
本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解･改造禁止
この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット
楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ティアック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　　http://www.teac.co.jp

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜12:00/13:00〜17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

1209 MA-1526B